

令和2年3月18日

関係機関の長 殿
関係各位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
生理学研究所長 鍋倉 淳一 [公印省略]

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
動物資源共同利用研究センター教授の公募について（依頼）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構動物資源共同利用研究センターでは、このたび下記の要領で教授を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知についてよろしくお願ひします。なお、本公募の選考は、自然科学研究機構生理学研究所が行います。

記

1. 公募職種及び人数 教授 1名

2. 任期 任期なし

3. 応募資格

博士の学位及び日本の獣医師免許を有し、動物実験技術を用いた研究経験が豊富である者、且つ同センターの運営に指導的役割を果たし国内外の共同利用研究を推進できる者、またはそれらに相当する業績を有する者

4. 業務内容

動物資源共同利用研究センターは、生理学研究所、基礎生物学研究所及び分子科学研究所（岡崎3研究所）の共通研究施設として、実験動物の飼養保管と供給、系統の保存、微生物学的管理、動物実験を適正に管理するための研究支援を行うと共に、研究支援に必要な技術開発、動物実験の教育・指導を行っています。令和元年4月、岡崎3研究所の使命である共同利用研究をより推進することを目的に、動物実験センターから同センターに改組されました。同センターが取り扱う実験動物は、マウス、ラット、ニホンザルなどのマカク属サル、マーモセットの他、魚類、両生類を含みます。また、生理学研究所では、ヒトのからだと脳の働きの解明を目指し、分担機関としてナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」を担当しています。

本公募では、動物実験を含む申請者の研究を推進すると共に、同センターの管理・運営、動物実験を中心とする国内外の共同利用研究を推進できる者を求めます。また、本公募の教授は、生理学研究所の教授を兼務していただくと共に、業務として（1）動物実験計画書の審査、（2）動物実験委員会及び関連する各部局と連携し、岡崎3研究所

において適切に動物実験を行うための業務、(3) 実験動物の飼養保管、動物実験に関する教職員・学生への教育・指導、(4) 外部機関の共同利用研究者など研究者コミュニティへの動物実験に関する支援、(5) ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」の運営など、生理学研究所の事業への助言・支援、(6) 動物実験への社会の理解を深めるパブリックリレーションズを含みます。

5. 教育内容

総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻の担当

6. 就任時期

決定後できる限り早期の着任を希望します。

7. 公募締切

令和2年5月8日(金) (必着)

8. 提出書類 (和文または英文)

- (1) 推薦書 (同封様式)
- (2) 略歴書 (同封様式)
- (3) 業績目録 (別紙1により作成のこと。特許があればそれも含めてよい。)
- (4) 主要論文の別刷又はコピー 10編以内 各2部
- (5) 現在までの研究、教育、研究支援業務の概要と着任後の抱負 (和文の場合: 1,500字程度、英文の場合: 600語程度)
- (6) その他参考資料 (別紙2を参考にして作成のこと。)

※ 様式は次の URL からダウンロード可能です。

<https://www.nips.ac.jp/recruit/index.html>

提出書類の返却は原則としていたしません。

9. その他

(1) 男女共同参画

- ① 生理学研究所は男女共同参画の推進に取り組んでいます。
- ② 生理学研究所は業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
- ③ 産前産後休暇・育児休業又は介護休業を取得した場合は、履歴書等にその期間を明記していただければ、それを考慮します。

(2) 個人情報の取扱い

応募に係る個人情報は個人情報保護法及び本機構規定に基づいて適切に管理し、選考および採用の目的以外には使用いたしません。

10. 送付先及び問い合わせ先

(1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

岡崎統合事務センター 総務部総務課人事係
「動物資源共同利用研究センター教授 応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付
すること。

(2) 問い合わせ先

業務に関して

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所 教授

箕越 靖彦

電話：0564-55-7741

e-mail: minokosh@nips.ac.jp

給与等処遇に関して

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

岡崎統合事務センター 総務部総務課人事係

電話：0564-55-7113

ホームページ：<http://www.nips.ac.jp/>

推 薦 書

下記のとおり、動物資源共同利用研究センター教授の候補者を推薦します。

記

1 被推薦者氏名及び現職

被推薦者氏名

被推薦者現職

2 推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

令和 年 月 日

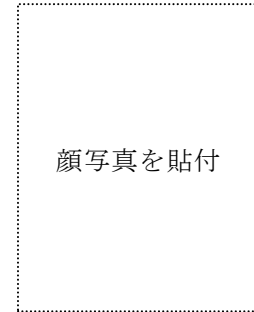
推薦者職・氏名

印

自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター
教授候補者 略歴書

令和 年 月 日 現在

ふりがな 氏名 (旧氏名)	
生年月日	年 月 日 (歳)
学 位	種 類 (年 月)
	授与機関



修 学 期 間	学 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
在 職 期 間	職 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
従 事 期 間	職歴以外の研究又は教育歴事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

従 事 期 間	学会及び動物実験施設協議会等での活動（役職など）
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

現 在 の 所 属 先		
所 属 先 の 住 所		〒
所属の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

自 宅 の 現 住 所		〒
自宅の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

その他の事項（賞罰など。獣医師免許等を有する場合は獣医師名簿登録番号、取得年月を記載）

別 紙 1

〔業績目録の様式〕

- 1 A 4 版用紙を用い、A) 原著論文、B) 総説及び著書の順で記載してください。
- 2 個々の論文、著書については、記入例を参考に、掲載または出版を許可されたもののみを発表順に番号を付けて記載してください。著者は全員記載してください。

〔記 入 例〕

A) 原著論文

1. Neher E & Sakmann B. Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers. *Nature* 260: 779-802 (1976)

B) 総説及び著書

1. 日本太郎. 聴覚の生理的基礎 勝木編 感覚の生理学 P.51-70 岡崎書院 (1990)

別 紙 2

[その他参考資料の様式]

- A4版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5～10年)、④特許出願・取得状況、⑤動物実験施設における管理運営の実績、⑥動物実験委員会での活動実績、⑦実験動物と動物実験に関する教育・指導の実績、⑧その他の順で記載してください。

[記入例]

①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

- 1. 生理太郎 (2000, 3) Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition. The 26th SEIRIKEN International Symposium, Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition, Okazaki, Japan (invited speaker)

②国際共同研究の実績

- 1. Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95.
研究テーマ: Visual pattern recognition by primate neuronal networks.
共同研究者: 生理太郎, Darwin C, Yang J (代表者がある場合は下線を引いて下さい)
研究期間: 1995, 6 - 1998, 5

③競争的資金からの研究費の獲得状況

- 1. 戦略的基礎研究推進事業 (科学技術振興事業団)
研究テーマ: 体性感覚における視床一大脳皮質機能連関 (研究代表者)
期間: 1996, 4 - 2000, 3
研究費総額: 230,000,000 円

④特許出願・取得リスト

- 1. 生理太郎, 薬理次郎. 名称「腎疾患治療剤のスクリーニング法」
出願番号 2003-999999x
国際出願番号 PCT/JP02/999999x (国際公開番号 WO-2003/9999999x)
出願人 大和大学
出願日 2001年1月1日

⑤動物実験施設における管理運営の実績

- 1. 2010-2020年 生理学大学動物実験センター専任教員(准教授)として管理運営を担当

⑥動物実験委員会での活動実績

- 1. 2010-2020年 生理学大学動物実験委員会委員

⑦実験動物と動物実験に関する教育・指導の実績

- 1. 2010-2020年 生理学大学獣医学部において教職員・学生を対象に実験動物と動物実験に関する教育を担当。